

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公表番号】特表2003-517846(P2003-517846A)

【公表日】平成15年6月3日(2003.6.3)

【出願番号】特願2001-547141(P2001-547141)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
C 07 K	14/54	(2006.01)
C 07 K	16/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	A
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	29/00	
C 07 K	14/54	Z N A
C 07 K	16/00	
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月21日(2007.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】IL-20Aサブユニットが配列番号12、38、55、63、および65から成る群から選択されるアミノ酸配列を有するポリペプチドから構成され、そしてIL-20Bサブユニットが配列番号15、59、61、67、68、および69から成る群から選択されるアミノ酸配列を有するポリペプチドから構成されている、IL-20RAサブユニットおよびIL-20RBサブユニットから構成された単離された可溶性レセプター。

【請求項2】前記IL-20AサブユニットおよびIL-20Bサブユニットがポリペプチドリンクーにより一緒に結合されている、請求項1に記載の可溶性レセプター。

【請求項3】前記ポリペプチドリンクーが約100～240アミノ酸残基を有する、請求項2に記載の可溶性レセプター。

【請求項4】前記ポリペプチドリンクーが約170アミノ酸残基を有する、請求項3に記載の可溶性レセプター。

【請求項5】前記IL-20AサブユニットおよびIL-20Bサブユニットの各々が該サブユニットに融合されたポリペプチドリンクーを有し、かつポリペプチドリンクーの各々が少なくとも1つのシステイン残基を有し、そしてIL-20AサブユニットのポリペプチドリンクーからのシステインとIL-20Bサブユニットのポリペプチドリンクーからのシステインとから少なくとも1つのジサルファイド結合を形成している、請求項1に記載の可溶性レセプター。

【請求項6】前記IL-20Aサブユニットが免疫グロブリン(Ig)分子の重鎖の定常領域のすべてまたは一部分に融合されており、そして前記IL-20Bサブユニットが免疫グロブリン分子の軽鎖の定常領域のすべてまたは一部分に融合されており、それら軽鎖および重鎖

が一緒にジサルファイド結合されている、請求項5に記載の可溶性レセプター。

【請求項7】前記重鎖の定常領域がCH1ドメイン、CH2ドメイン、およびCH1ドメインをCH2ドメインに接続するヒンジ配列から構成されている、請求項6に記載の可溶性レセプター。

【請求項8】前記重鎖の定常領域に融合されたIL-20Aサブユニットが配列番号23、53、54および62から成る群から選択されるアミノ酸配列から構成され、そして前記IgGの軽鎖の定常領域に融合されたIL-20Bサブユニットが配列番号21、57、58および60から成る群から選択されるアミノ酸配列から構成されている、請求項6に記載の可溶性レセプター。

【請求項9】前記IL-20BサブユニットがIg分子の重鎖の定常領域のすべてまたは一部分に融合されており、そして前記IL-20Aサブユニットが免疫グロブリン分子の軽鎖の定常領域のすべてまたは一部分に融合されており、それら軽鎖および重鎖が一緒にジサルファイド結合されている、請求項5に記載の可溶性レセプター。

【請求項10】第1ポリペプチドが配列番号53および54から成る群から選択されるアミノ酸から構成されており、そして第2ポリペプチドが配列番号57および58から成る群から選択されるアミノ酸配列から構成されている、第2ポリペプチドに対してジサルファイド結合した第1ポリペプチドから構成されている可溶性IL-20レセプター。

【請求項11】第1ポリペプチドが配列番号23および62から成る群から選択されるアミノ酸から構成されており、そして第2ポリペプチドが配列番号21および60から成る群から選択されるアミノ酸配列から構成されている、第2ポリペプチドに対してジサルファイド結合した第1ポリペプチドから構成されている可溶性レセプター。

【請求項12】第1ポリペプチドが配列番号66のアミノ酸から構成されており、そして第2ポリペプチドが配列番号70および71から成る群から選択されるアミノ酸配列から構成されている、第1ポリペプチドおよび第2ポリペプチドを有するタンパク質。